



拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 113

令和 8年 9月 23日

**9月9日(水)に社協常任理事会が行われました。
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



8月末頃から秋らしい気候になりました。紅葉もちらほら目につきます。インフルエンザが流行しているようです。手洗いとうがいを行いましょう。

■ ふれあい交流部より ■

- 8月20日(木)の「福まちサロン」は地区センター2階集会室に16名の高齢者が参加され、前回に続きせせらぎ保育園の園児9名(先生4名の付き添い)も参加し、一緒に3曲の歌の合唱、園児による肩もみ、園児手作りのメッセージカードのプレゼントが行われました。その後、クイズ、ビンゴ、誕生日のお祝い(お一人)、ふくろうの折り紙リースのプレゼント、などを楽しまれました。次回は9月25日(金)10:00~11:30、拓北会館にて開催予定です。
- 8月27日(木)の「ぽかぽかふれあい広場」は地区センター多目的ホールに14組28名の親子さん、北区すこやか保健係の方、栄養士さん、スタッフを含めると総勢45名が参加し、自由遊び・交流、お子さまの身長・体重測定・栄養相談、親子でだるまちゃん作り、絵本で子育て講座・手作りのだるまさんで絵本を楽しもう、くじびき、親子で遊ぼうが行われ、皆さん楽しく過ごされました。
- 9月8日(火)のひまわりクラブは拓北ひまわり会館に5組11名の親子さんが参加され、自由遊び、紙芝居・絵本の読み聞かせ、誕生日のお祝い(お一人)、お月見の折り紙リースのプレゼント、などを楽しまれました。また、北区の保健師さんによる身長・体重測定も行われました。次回のひまわりクラブは10月8日(木)10:00~11:30、拓北ひまわり会館にて開催予定です。



16名の高齢者さんたちが参加した、8月20日の福まちサロンで、ビンゴをしている様子。



28名の親子さんが参加した、8月27日のぽかぽかふれあい広場の様子。自由遊び・交流を楽しんでいるところ。



ぽかぽかふれあい広場で、親子でだるまちゃん作りを楽しんでいるところ。



11名の親子さんが参加した、9月8日のひまわりクラブの様子。みんなでハイハイをしているところ。

■ 地域ケア部より ■

8月例会は18日(火)18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、「RUN 伴」木元国友(きもと・くにと、石狩市認知症地域推進員)さんと、「注文をまちがえるカフェたくあい」杉本香陽さん(すぎもと・かよう、小規模多機能型居宅介護 春の歌)をお招きし、二つのイベントの概要・趣旨説明、皆さまのご支援ご協力、ご提案情報提供などの支援を呼びかける「認知症啓発イベントにご協力を!」を行いました。今回も地区センターでの対面のみで行われ、参加者は22名。

最初に、木元さんから、RUN 伴とは何か、RUN 伴の歴史、RUN 伴北海道、RUN 伴2026 in あいの里、についてお話されました。

RUN 伴は、『タスキをつなぐ』体験と出会いから生まれる気づきによって誰もが暮らしやすい地域づくりを、認知症を生きる人達と一緒に提案し、地域が共に生きる日常へと変わって行くことを目指しています。何よりも認知症を生きる人達と「接すること」が大事で、その機会を提供するものです。この活動を全国、全道に広げたキーパーソンは、あいの里在住の井出訓(いいで・さとし、放送大学教授、元北海道医療大学准教授)さんです。井出さんはRUN 伴の管理運営団体である特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブの理事長であり、ケア施設町内会発足のメンバーの一人でもあります。



地区センターで22名が参加した、8月18日の地域ケア部の例会の様子。

[裏につづく ➡]

その歴史は、2011年の函館ー札幌間がスタートで、翌2012年は札幌ー東京間、2013年は旭川ー大阪間、2014年は帯広ー旭川ー広島間、2015年は北見ー帯広ー旭川ー大牟田間、2016年は稚内ー札幌ー沖縄間、と点から線へと展開しました。2017年から2019年の3年間は北海道ー沖縄間、と線から面へと展開しました。2020年と21年はコロナ禍で中止、**2022年からはRUN伴北海道として再出発し、以降、都道府県単位で行われるようになりました。**

RUN伴北海道は、札幌市、旭川市、函館市を含む8市と十勝振興局の全市町村が加わり、2026年度は全道で890人が参加予定です。

RUN伴2026in あいの里は、9月26日(土)、9時30分にJRあいの里教育大駅を出発し、北海道教育大学、北海道札幌あいの里高等支援学校のバス路線を通して、介護付きホーム ふれあいの里 藍華(あいの里1条6丁目1-20)をゴールとする予定です。

当会事務局の長谷川から、当日10時から高等支援学校の「あいcircle」が行われる予定なので、それとコラボしてはどうか、との提案がありました。それに対応するよう、9時30分に藍華をスタートとし、10時からの高等支援学校の「あいcircle」とコラボし、北海道教育大学を通して、JRあいの里教育大駅をゴールとする、プログラム、ルートの再検討を関係者と協議をしながら行いたい、とのことでした。オレンジ色のTシャツを着たランナー達を見かけたら、応援をよろしくお願いします。

次に、杉本さんの「注文をまちがえるカフェたくあい」について、昨年、初めて旧手風琴にて行われました。「世界アルツハイマーデー」の9月21日、認知症の状態にある方々が従業員として働く、「注文をまちがえるレストランたくあい」として実施され、盛況裡に終わりました。

昨年に引き続き**今年は、6月から実行委員が集合し、活動内容を協議**してきました。**就労継続支援B型事業所である「パン工房あんびしゃす」(篠路1条2丁目1-2)さんのご協力により、休店である9月7日(月)に開催とし、あんびしゃすのパン、春の歌ブレンドのコーヒー、デザート**のセットを600円で提供します。**10時~11時30分と13時30分~15時の2回です(各回20名限定)**。現在、店員さんを募集中です。また、当日お客さんとして来ていただける方、大歓迎との告知がありました。

会場からは、こういう試みを継続して行うことが大事、一般市民が参加しやすくなるような工夫一例えば店舗の営業日に行うなどが今後の課題、JRやバスの公共交通のない場所でどのように足を確保するのか考えることが大事、といった意見が出されました。

今回は、「**認知症啓発イベントにご協力を!**」が主目的でしたので、「**皆さん、9月7日(月)と9月26日(土)の両日、どうかお忘れなく!**」との呼びかけで締めくくられました。

なお、9月例会は15日(火)18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、当会顧問の安藤裕啓(あんどう・ひろやす)を招き、「チームオレンジ 活動報告」をテーマに行いました。その内容については次号の114号で報告いたします。

◇ 今後の予定 ◇

10月例会は、地区センターが休館(10月5日から11月20日まで)のため、休会とします。

■ ボランティア企画部より ■

・生活支援ボランティア活動(サポートたくあい)の実施状況について。

9月に入り、ご高齢世帯から体力的に庭木の管理が出来なくなってきたことで処理の依頼がありました。本数が多くサポートたくあいでは対応が難しいため、専門家への依頼をお願いしました。併せて玄関から生活道路迄の除雪の依頼もありましたが、福祉除雪を申し込まれることをお勧めしました。

■ 総務部より ■

・8月24日(月)18時から地区センター2階集会室にて、連町・社協・民児協の三者連携共同の「福祉除雪説明会・意見交換会」を開催しました。6町内会から9名、北区社協から2名、他15名、**総勢26名が参加**されました。北区社協事務局次長の柳さんからの福祉除雪事業についての説明と、それに対する質問及び意見交換が行われました。**今年度より、利用対象世帯の要件が変わり、年齢要件から新たに「介護サービス」利用の有無が指針となり、要件がより厳しくなりました。**具体的には、要介護1以上、または重度(1・2級)の身体障がいのある方、要支援1・2で介護保険サービスを継続して利用している方、など5項目あります。**ただし、前年度に福祉除雪事業を利用し、利用要件に変動のない世帯については、引き続き利用できることになっています。**一方で、福祉除雪地域協力員の活動費は2,000円アップし、1世帯(1シーズン)23,000円となりました。参加者からは、利用者からの要望やクレームへの難しい対応、福祉除雪事業にのらない無償ボランティアの除雪活動の苦労など、実体験にもとづく具体的な問題、課題が浮き彫りになりました。